



# 地域疫学国際ワークショップ in 沖縄

## International Workshop of the Regional Epidemiology in Okinawa

このワークショップは、入門コースであり、地域疫学及び地域医療に興味のある若い医師、研究生、大学院生を対象としています。(定員は20名となっております。)若い医師、研究生、大学院生の皆様の申し込みを優先と致します。英語及び日本語で行われます。(通訳なし)

日時：平成21年7月31日(金)～平成21年8月2日(日)

7/31 特別レクチャー：社会と健康 -社会疫学入門- レクチャー：Ichiro Kawachi 教授  
パネラー：Robert D. Abbott 教授、 Hiroko H. Dodge 教授

Welcome party

8/ 1 社会疫学 (Kawachi 教授) 認知症疫学 (Dodge 教授)

8/ 2 循環器疫学 (Abbott 教授) 栄養疫学 (佐々木教授)

会場：7/31 特別レクチャー 琉球大学医学部臨床講義棟2階大講義室 (沖縄県中頭郡西原町字上原207番地)  
8/ 1, 8/ 2 ワークショップ 琉球大学50周年記念会館 (沖縄県中頭郡西原町字千原1番地)

### Lecturers

#### Ichiro Kawachi ハーバード大学公衆衛生学大学院教授 (社会疫学)

1985年：オタゴ大学医学部(ニュージーランド)卒業 1991年：オタゴ大学でPh.D  
経済的社会的格差が健康を損なうことを疫学データから実証されました。Social Epidemiology や The Health of Nations (不平等が健康を損なう、日本評論社)などの共著者であり、社会疫学の第一人者として世界的に著名です。



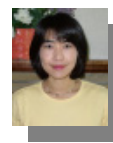
#### Robert D. Abbott ヴァージニア大学医学系大学院教授 (循環器疫学)

1997年：ミシガン大学でPh.D  
ハワイ在住日系人を対象とした40年以上にわたるコホート研究であるHonolulu Heart Program やアジア人を対象としたHonolulu-Asia Aging Study から、動脈硬化、認知症、アルツハイマー病、パーキンソン病などの疾患についての疫学的業績をお持ちです。



#### Hiroko H. Dodge オレゴン健康科学大学アルツハイマー研究所統計部長 (認知症疫学)

ピッツバーグ大学公衆衛生学部准教授兼任、ミシガン大学医学部客員教授。  
東京女子大学卒、米国ペンシルバニア州立大学にて人口統計学博士課程終了。高齢者認知症予防のための沖縄とオレゴンの高齢者の比較疫学研究を栄養や社会的ネットワークの面から行っています。Neurology、Archives、of Neurology、Journals of Gerontology: Medical Sciencesなどに多数の論文があります。



#### 佐々木 敏 東京大学大学院医学系研究科 社会予防疫学分野教授 (栄養疫学)

1989年 大阪大学医学部卒業 1994年 同医学部大学院博士課程修了医学博士(公衆衛生学)同年ルーベン大学医学部大学院(ベルギー)博士課程修了医学博士(疫学)。わが国の栄養疫学に関する第一人者。現在、女子学生の大規模集団の栄養疫学研究を行い、欧米学術誌に多数の論文があります。また、沖縄型食事の介入研究について琉球大学医学部と共同で行っています。



### お問い合わせ先

琉球大学医学部附属病院 専門研修センター 〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原207番地  
担当：城間・中曾根 TEL：098-895-1373 FAX：098-895-1500  
URL：<http://www.rky-cfrp.jp/> E-mail：[rsenmon@jim.u-ryukyu.ac.jp](mailto:rsenmon@jim.u-ryukyu.ac.jp)

参加希望者は、申込書(FAXにてお申し込み下さい。ホームページからもダウンロードできます。)を専門研修センターまで送付下さい。(締め切り：平成21年7月1日 水曜日)



# 社会と健康

## —社会疫学入門—

*Ichiro Kawachi*

ハーバード大学公衆衛生学大学院教授(社会疫学)

1985年:オタゴ大学医学部(ニュージーランド)卒業

1991年:オタゴ大学で Ph.D

経済的社会的格差が健康を損なうことを疫学データから実証されました。

‘Social Epidemiology’や‘The Health of Nations’(不平等が健康を損なう、日本評論社)などの共著者であり、社会疫学の第一人者として世界的に著名です。



この分野の研究における世界の第一人者 Kawachi 教授をお招きして、最新の研究成果をお話ししていただきます。

### パネリスト

Robert D. Abbott ヴァージニア大学医学系大学院教授

Hiroko H. Dodge オレゴン健康科学大学アルツハイマー研究所統計部長

**日 時** 2009年7月31日 **金曜日** 17:00 - 18:00

**会 場** 琉球大学医学部臨床講義棟 2階大講義室

(沖縄県中頭郡西原町字上原 207 番地)

### ●お問い合わせ●

琉球大学附属病院専門研修センター

TEL:098-895-1372・1373

FAX:098-895-1500

(担当:城間・中曽根)

E-mail:[rsenmon@jim.u-ryukyu.ac.jp](mailto:rsenmon@jim.u-ryukyu.ac.jp)

URL:<http://www.rky-cfrp.jp/>



# プログラム概要

## 目的

このワークショップは、入門コースであり、地域疫学及び地域医療に興味のある若い医師、研究生、大学院生を対象としています。（定員は20名となっております。）

ワークショップは、英語及び日本語で行われます。（通訳なし）

## 日程

7月31日（金曜日）17:00-21:00（予定）	
17:00-18:00	特別レクチャー：社会と健康 -社会疫学入門- レクチャラー：Ichiro Kawachi 教授
18:00-19:00	パネルディスカッション パネラーズ：Robert D.Abbott 教授 Hiroko H.Dodge 教授
19:30-21:00	Welcome party
8月1日（土曜日）8:30-21:30（予定）	
8:20-8:30	開会式 琉球大学医学部附属病院 病院長 須加原一博 挨拶
8:30-12:00	Session1 社会疫学 レクチャラー： Ichiro Kawachi 教授
13:00-17:30	Session2 認知症疫学 レクチャラー： Hiroko H.Dodge 教授
19:30-21:30	個別指導
8月2日（日曜日）8:30-16:00（予定）	
8:30-12:00	Session3 循環器疫学 レクチャラー：Robert D.Abbott 教授
13:00-16:00	Session4 栄養疫学 レクチャラー：佐々木 敏 教授
	閉会式

# 参加申込書

「地域疫学国際ワークショップ in 沖縄」への参加を申し込みます。

※参加希望者は本申込書にご記入の上、FAX または E-mail にて専門研修センターまで送付下さい。

定員は 20 名となっております。定員に達し次第、締め切らせて頂きます。ご了承下さい。 **(締め切り 平成 21 年 7 月 1 日 水曜日)**

所属	
役職名	
氏名 (ふりがな)	
所属先住所	
TEL	
E-mail アドレス	

●ワークショップでの昼食は、お弁当を準備します。

お弁当・お茶付き (2 日分 ¥2,000)

弁当注文  する  しない

●ワークショップ前日、Kawachi 教授の特別レクチャーの後に、Welcome Party を開催します。

グループワークでの顔合わせもございますので、ぜひご参加下さい。 **(参加費 ¥ 3,000)**

Welcome Party 参加  する  しない

●宿泊施設 (琉球大学構内 50 周年記念会館) を希望の方へご用意致します。

・シングル 1 泊 ¥2,700

・ツイン 1 泊 1 人使用 ¥4,600、2 人使用 ¥2,700

**※部屋数に限りがありますので、先着順で締め切らせて頂きます。ご了承下さい。**

宿泊申し込み  する  しない

●宿泊申し込みの方は、宿泊希望日を○で囲んで下さい。

7 / 31 (金)

8 / 1 (土)

## お問い合わせ先

琉球大学医学部附属病院専門研修センター 〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原 207 番地

TEL : 098-895-1373

FAX : 098-895-1500

URL : <http://www.rky-cfrp.jp/>

E-mail : [rsenmon@jim.u-ryukyu.ac.jp](mailto:rsenmon@jim.u-ryukyu.ac.jp)

担当 : 城間・中曽根



主催：文部科学省所管 (財)生存科学研究所  
共催：琉球大学医学部附属病院専門研修センター  
後援：沖縄県北部地区医師会、今帰仁診療所

## 地域疫学国際ミニシンポジウム in 今帰仁/沖縄

International Mini Symposium of the Regional Epidemiology in Nakijin/Okinawa

このミニシンポジウムは、入門コースであり、地域疫学及び地域医療に興味のある医師、保健師、行政担当者、学生を対象としています。  
英語及び日本語で行われますが、日本語の解説を加えたいと考えています。

日時：平成21年8月3日(月) 18:00-20:00

会場：今帰仁村コミュニティセンター (TEL: 0980-56-1112)

### 健康長寿の持続をどのように考えるか?

### - 地域社会と人のつながりを見直す -

"Healthy Aging in the community: from the perspective of social and human network"

#### シンポジスト

**Ichiro Kawachi** ハーバード大学公衆衛生学大学院教授(社会疫学)

1985年：オタゴ大学医学部(ニュージーランド)卒業 1991年：オタゴ大学でPh.D  
経済的社会的格差が健康を損なうことを疫学データから実証されました。'Social Epidemiology'や'The Health of Nations'(不平等が健康を損なう、日本評論社)などの共著者であり、社会疫学の第一人者として世界的に著名です。



**Robert D. Abbott** ヴァージニア大学医学系大学院教授(循環器疫学)

1997年：ミシガン大学でPh.D  
ハワイ在住日系人を対象とした40年以上にわたるコホート研究であるHonolulu Heart Programやアジア人を対象としたHonolulu-Asia Aging Studyから、動脈硬化、認知症、アルツハイマー病、パーキンソン病などの疾患について多くの疫学的業績をお持ちです。



**Hiroko H. Dodge** オレゴン健康科学大学アルツハイマー研究所統計部長(認知症疫学)

ピッツバーグ大学公衆衛生学部准教授兼任、ミシガン大学 Institute for Social Research 客員教授。  
東京女子大学卒、米国ペンシルバニア州立大学にて人口統計学博士課程終了。滋養、沖縄とオレゴンの高齢者を対象に認知症予防の疫学研究を、琉球大学医学部などと栄養や社会的ネットワークの面から行っています。  
Neurology, Archives, of Neurology, Journals of Gerontology: Medical Sciencesなどに多数の論文があります。



**佐々木 敏** 東京大学大学院医学系研究科 社会予防疫学分野教授(栄養疫学)

1989年 大阪大学医学部卒業 1994年 同医学部大学院博士課程修了医学博士(公衆衛生学) 同年ルーベン大学医学部大学院(ベルギー)博士課程修了医学博士(疫学)。わが国の栄養疫学に関する第一人者。現在、女子学生の大規模集団の栄養疫学研究を行い、欧米学術誌に多数の論文があります。また、沖縄型食事の介入研究について琉球大学医学部と共同で行っています。



#### 参加申し込みとお問い合わせ先

琉球大学医学部医学科衛生学公衆衛生学分野 等々力英美 〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原 207 番地  
TEL: 098-895-1137 FAX: 098-895-1412  
E-mail: [todoriki@med.u-ryukyu.ac.jp](mailto:todoriki@med.u-ryukyu.ac.jp)

※ (財)生存科学研究所は、元日本医師会会長 故武見太郎氏が設立した研究所です。ハーバード大学公衆衛生大学院に設けられている Takemi プログラムは、武見太郎氏の名前を冠したフェロシップです。